



岡田 晃
(OKADA Akira)
一般科 准教授 (英語)
(博士 (英語学))

研究室ホームページ

<https://www.oyama-ct.ac.jp/G/kyouin/kyouin2019/okadaa.html>



専門分野

- ▷ 英語史
- ▷ 派生形態論
- ▷ 英語コーパス

研究概要

1. 中英語期から現代英語にかけての通時的語彙研究

否定接頭辞付加派生語の中英語期から現代英語にかけての変遷を辿る。主に否定接頭辞 in-, un-, non-に注目し、ゲルマン語系の語彙には通例 un-が付加されるのだが、ラテン語系の in-や non-が付加されるようになった社会的要因や言語学要因を探る。また、ラテン語系語彙にゲルマン語系の un-が付加されるようになった要因を探っている。さらに、異なる否定接頭辞が同一の語に付加されて派生されている二重語（あるいは三重語）を列挙し、その使用頻度を調査している。

2. 英語コーパス利用による頻度数調査

イギリス英語のサンプル集 the British National Corpus やアメリカ英語のサンプル集 the Corpus of Contemporary American English を使用し、上述のような二重語（あるいは三重語）の現代英語における頻度調査を行っている。

3. The Oxford English Dictionary 2nd edition (OED) 利用による過去の例文調査

英語コーパスの頻度調査で調査対象とした二重語などを OED を利用して過去の例文調査を行っている。どのような時期のどのような文献内で見られる語彙なのか、その当時の社会的要因や言語学的要因を調査するための重要な資料として、当資料を使用している。

趣味など

- ▷ 野球
- ▷ 英語
- ▷ 旅行
- ▷ 異文化交流

キーワード

- ▷ History of English
- ▷ Derivational Morphology
- ▷ Negative Prefixes
- ▷ English Corpus

お役に立てそうなこと

- ▷ 英語のワークショップ
- ▷ 海外の学校・大学との交流
- ▷ 英語スピーチ関連